

令和3年度 1学期学校評価アンケート集計

西尾市立一色南部小学校
令和3年 7月実施

項目	目標	対象	質問内容
信頼される学校づくり	保護者、地域に開かれた学校	保護者	通信やブログなどを通して学校や学級の指導方針がよく分かる
		児童	先生の話聞いて、自分が何をやらなければならないかがわかる
		教職員	通信などを通して指導方針(学級経営方針も含む)を説明するよう心がけている
1			<p>令和2・7月</p> <p>令和3・7月</p> <p> ■ よく当てはまる ■ やや当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ まったく当てはまらない </p>
			<p>【1】 前年度よりブログの更新の回数を増やしている。これからも通信やブログの内容を精査し、学校の様子を保護者・地域に伝えていけるよう取り組みを続けたい。</p>
かんがえる	全員参加の面白い授業	保護者	お子さんは、自ら進んで学習したり考えを伝えたりしようとしている
		児童	授業の中で自分の考えを進んで発表したり、問題を進んで解決したりしている
		教職員	子どものやる気を引き出し、自ら考え学ぼうとする授業づくりに取り組んでいる
2			<p>令和2・7月</p> <p>令和3・7月</p> <p> ■ よく当てはまる ■ やや当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ まったく当てはまらない </p>
			<p>【2】 新学習指導要領の示す「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、さらに教職員の研鑽を積んでいながら、考えを深め、伝える場を設定した全員参加の面白い授業の実現を目指していきたい。</p>
かんがえる	基礎学力の定着	保護者	お子さんは、習ったことを繰り返し学習している
		児童	毎日の授業で学習したことをきちんと復習している
		教職員	努力賞テストなどを通して、その学年で身につけるべき学力を定着させている
3			<p>令和2・7月</p> <p>令和3・7月</p> <p> ■ よく当てはまる ■ やや当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ まったく当てはまらない </p>
			<p>【3】 保護者の満足度の低い項目である。基礎学力定着のため、家庭等での復習の習慣がさらに望まれるところである。家庭学習の課題を精査し、学校と家庭が連携して、児童の学力を伸ばしていきたい。</p>
かんがえる	学びの価値づけ	保護者	お子さんは、自分の目標に向かって努力し、通知表ファイル等で振り返り、次に生かしている
		児童	授業や行事の振り返りから目標を決め、その結果を次につなげて生かしている
		教職員	指導と評価の一本化を図った朱書きを入れ、意欲を引き出している
4			<p>令和2・7月</p> <p>令和3・7月</p> <p> ■ よく当てはまる ■ やや当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ まったく当てはまらない </p>
			<p>【4】 児童の「よく当てはまる」「やや当てはまる」の割合に比べ、保護者・教職員の割合が低い項目である。児童の振り返りをもとに、次へつなげていけるような支援の場を設けるとともに、達成感を味わえる活動を心がけていきたい。</p>

5	新たな教育課題	保護者	お子さんは、情報機器等を活用しながら意欲的に学習に取り組んでいる
		児童	授業の中で情報機器等を活用し、自分の考えを深めている
		教職員	情報機器を活用し、プログラミング的思考を育む授業づくりに取り組んでいる

前年度項目なし

対象者	令和2・7月	令和3・7月
保護者	18% (よく当てはまる), 48% (やや当てはまる), 31% (あまり当てはまらない), 3% (まったく当てはまらない)	8% (よく当てはまる), 31% (やや当てはまる), 45% (あまり当てはまらない), 15% (まったく当てはまらない)
児童	15% (よく当てはまる), 23% (やや当てはまる), 54% (あまり当てはまらない), 8% (まったく当てはまらない)	17% (よく当てはまる), 58% (やや当てはまる), 17% (あまり当てはまらない), 8% (まったく当てはまらない)

【5】 本年度からの項目である。児童一人に一台ずつ配置されたタブレット端末を活用し、考えを深めるツールとしての活用に向けて教職員の一層の研鑽が望まれる。

6	体力の向上	保護者	お子さんは、業前マラソンに目標をもって取り組んでいる
		児童	自分は、業前マラソンに目標をもって取り組んでいる
		教職員	目標をもって業前マラソンに取り組めるような声かけや工夫ができています

対象者	令和2・12月	令和3・7月
保護者	33% (よく当てはまる), 41% (やや当てはまる), 20% (あまり当てはまらない), 5% (まったく当てはまらない)	26% (よく当てはまる), 32% (やや当てはまる), 35% (あまり当てはまらない), 7% (まったく当てはまらない)
児童	58% (よく当てはまる), 27% (やや当てはまる), 10% (あまり当てはまらない), 4% (まったく当てはまらない)	58% (よく当てはまる), 27% (やや当てはまる), 10% (あまり当てはまらない), 5% (まったく当てはまらない)
教職員	15% (よく当てはまる), 85% (やや当てはまる), 0% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)	17% (よく当てはまる), 58% (やや当てはまる), 17% (あまり当てはまらない), 8% (まったく当てはまらない)

【6】 本校伝統の業前マラソンである。コロナ禍での安全な実施方法を探っていきながら、目標と達成感、成就感をもたせて児童の体力の向上を目指していきたい。

7	生活リズムの調整	保護者	「親子げんきっ子カード」を、お子さんといっしょに取り組んでいる
		児童	自分は、「親子げんきっ子カード」に真剣に取り組んでいる
		教職員	「親子げんきっ子カード」をもとに、健康な生活リズムを心がける声かけや工夫ができています

対象者	令和2・12月	令和3・7月
保護者	35% (よく当てはまる), 40% (やや当てはまる), 20% (あまり当てはまらない), 5% (まったく当てはまらない)	46% (よく当てはまる), 39% (やや当てはまる), 13% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)
児童	56% (よく当てはまる), 30% (やや当てはまる), 13% (あまり当てはまらない), 1% (まったく当てはまらない)	56% (よく当てはまる), 32% (やや当てはまる), 8% (あまり当てはまらない), 4% (まったく当てはまらない)
教職員	0% (よく当てはまる), 77% (やや当てはまる), 23% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)	29% (よく当てはまる), 57% (やや当てはまる), 14% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)

【7】 学期に1回の取り組みであるが、児童、保護者が高い意識をもって取り組んでいることがわかる。教職員側の声かけや健康について意識を向上させるための工夫をしっかりとしていきたい。

8	食生活の定着	保護者	お子さんは、お家でも好き嫌いなく、バランスのとれた食習慣がついている
		児童	給食や家での食事で、好き嫌いなく、バランスよく食べることができている
		教職員	バランスのとれた食習慣が意識できるような指導を行っている

対象者	令和2・7月	令和3・7月
保護者	27% (よく当てはまる), 41% (やや当てはまる), 26% (あまり当てはまらない), 7% (まったく当てはまらない)	25% (よく当てはまる), 34% (やや当てはまる), 35% (あまり当てはまらない), 6% (まったく当てはまらない)
児童	38% (よく当てはまる), 40% (やや当てはまる), 12% (あまり当てはまらない), 10% (まったく当てはまらない)	35% (よく当てはまる), 38% (やや当てはまる), 22% (あまり当てはまらない), 5% (まったく当てはまらない)
教職員	23% (よく当てはまる), 54% (やや当てはまる), 15% (あまり当てはまらない), 8% (まったく当てはまらない)	27% (よく当てはまる), 53% (やや当てはまる), 13% (あまり当てはまらない), 7% (まったく当てはまらない)

【8】 昨年度より数値が低くなっている項目の一つである。弁当の日の取り組みをはじめとして、児童が食生活・食習慣を意識できるような機会を大切に、指導をしていきたい。

きたえる

たすけあう	9	生命の尊重	保護者	お子さんは、交通安全に気をつけて登下校したり、自転車に乗ったりしている								
		児童	交通安全に気をつけ、登下校したり自転車に乗ったりしている									
		教職員	交通安全指導、避難訓練等で、状況に応じた的確な判断や行動をとるよう指導している									
		<table border="1"> <caption>Item 9: Safety and Security</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>令和2・7月</th> <th>令和3・7月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>42% (よく当てはまる), 46% (やや当てはまる), 10% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)</td> <td>45% (よく当てはまる), 44% (やや当てはまる), 9% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>76% (よく当てはまる), 19% (やや当てはまる), 4% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)</td> <td>72% (よく当てはまる), 23% (やや当てはまる), 2% (あまり当てはまらない), 3% (まったく当てはまらない)</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>0% (よく当てはまる), 79% (やや当てはまる), 21% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)</td> <td>40% (よく当てはまる), 60% (やや当てはまる), 0% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	令和2・7月	令和3・7月	保護者	42% (よく当てはまる), 46% (やや当てはまる), 10% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)	45% (よく当てはまる), 44% (やや当てはまる), 9% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)	児童	76% (よく当てはまる), 19% (やや当てはまる), 4% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)	72% (よく当てはまる), 23% (やや当てはまる), 2% (あまり当てはまらない), 3% (まったく当てはまらない)	教職員
対象者	令和2・7月	令和3・7月										
保護者	42% (よく当てはまる), 46% (やや当てはまる), 10% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)	45% (よく当てはまる), 44% (やや当てはまる), 9% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)										
児童	76% (よく当てはまる), 19% (やや当てはまる), 4% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)	72% (よく当てはまる), 23% (やや当てはまる), 2% (あまり当てはまらない), 3% (まったく当てはまらない)										
教職員	0% (よく当てはまる), 79% (やや当てはまる), 21% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)	40% (よく当てはまる), 60% (やや当てはまる), 0% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)										
<p>【9】 今回は保護者アンケートの中で、登下校に対する不安について書かれているものが多かった。通学団に対する指導をはじめとして、安全・安心について常日頃から児童に高い意識をもたせていきたい。</p>												
10	信頼を基調とした集団づくり	保護者	お子さんは、お家で自分のよいところや得意なことを話す									
	児童	自分にはよいところや頼りにされているところがある										
	教職員	自己肯定感、自己有用感を高める工夫をしている										
	<table border="1"> <caption>Item 10: Building Trust</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>令和2・7月</th> <th>令和3・7月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>30% (よく当てはまる), 47% (やや当てはまる), 19% (あまり当てはまらない), 4% (まったく当てはまらない)</td> <td>35% (よく当てはまる), 45% (やや当てはまる), 18% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>23% (よく当てはまる), 43% (やや当てはまる), 24% (あまり当てはまらない), 10% (まったく当てはまらない)</td> <td>30% (よく当てはまる), 44% (やや当てはまる), 20% (あまり当てはまらない), 6% (まったく当てはまらない)</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>25% (よく当てはまる), 56% (やや当てはまる), 19% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)</td> <td>13% (よく当てはまる), 75% (やや当てはまる), 13% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	令和2・7月	令和3・7月	保護者	30% (よく当てはまる), 47% (やや当てはまる), 19% (あまり当てはまらない), 4% (まったく当てはまらない)	35% (よく当てはまる), 45% (やや当てはまる), 18% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)	児童	23% (よく当てはまる), 43% (やや当てはまる), 24% (あまり当てはまらない), 10% (まったく当てはまらない)	30% (よく当てはまる), 44% (やや当てはまる), 20% (あまり当てはまらない), 6% (まったく当てはまらない)	教職員	25% (よく当てはまる), 56% (やや当てはまる), 19% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)
対象者	令和2・7月	令和3・7月										
保護者	30% (よく当てはまる), 47% (やや当てはまる), 19% (あまり当てはまらない), 4% (まったく当てはまらない)	35% (よく当てはまる), 45% (やや当てはまる), 18% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)										
児童	23% (よく当てはまる), 43% (やや当てはまる), 24% (あまり当てはまらない), 10% (まったく当てはまらない)	30% (よく当てはまる), 44% (やや当てはまる), 20% (あまり当てはまらない), 6% (まったく当てはまらない)										
教職員	25% (よく当てはまる), 56% (やや当てはまる), 19% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)	13% (よく当てはまる), 75% (やや当てはまる), 13% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)										
<p>【10】 本校の特徴として児童の自己肯定感が低いことがあげられる。少しずつであるが数値が上がってきているので、さらに自己肯定感・有用感を感じられる場の設定や教職員側の工夫・手だてを考えていきたい。</p>												
11	学級目標を核とした学級文化づくり	保護者	お子さんは、お家で進んで挨拶や手伝いをしたり、いろいろな行事活動に参加したりしている									
	児童	進んであいさつしたり、自分で考えながら学級の仕事に取り組んだりしている										
	教職員	学級目標を核として、子どもたちが主体的に活動したり、企画・運営したりできる場の工夫をしている										
	<table border="1"> <caption>Item 11: School Culture</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>令和2・7月</th> <th>令和3・7月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>18% (よく当てはまる), 43% (やや当てはまる), 36% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)</td> <td>27% (よく当てはまる), 42% (やや当てはまる), 28% (あまり当てはまらない), 4% (まったく当てはまらない)</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>44% (よく当てはまる), 37% (やや当てはまる), 16% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)</td> <td>48% (よく当てはまる), 39% (やや当てはまる), 12% (あまり当てはまらない), 1% (まったく当てはまらない)</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>0% (よく当てはまる), 67% (やや当てはまる), 27% (あまり当てはまらない), 7% (まったく当てはまらない)</td> <td>8% (よく当てはまる), 62% (やや当てはまる), 31% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	令和2・7月	令和3・7月	保護者	18% (よく当てはまる), 43% (やや当てはまる), 36% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)	27% (よく当てはまる), 42% (やや当てはまる), 28% (あまり当てはまらない), 4% (まったく当てはまらない)	児童	44% (よく当てはまる), 37% (やや当てはまる), 16% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)	48% (よく当てはまる), 39% (やや当てはまる), 12% (あまり当てはまらない), 1% (まったく当てはまらない)	教職員	0% (よく当てはまる), 67% (やや当てはまる), 27% (あまり当てはまらない), 7% (まったく当てはまらない)
対象者	令和2・7月	令和3・7月										
保護者	18% (よく当てはまる), 43% (やや当てはまる), 36% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)	27% (よく当てはまる), 42% (やや当てはまる), 28% (あまり当てはまらない), 4% (まったく当てはまらない)										
児童	44% (よく当てはまる), 37% (やや当てはまる), 16% (あまり当てはまらない), 2% (まったく当てはまらない)	48% (よく当てはまる), 39% (やや当てはまる), 12% (あまり当てはまらない), 1% (まったく当てはまらない)										
教職員	0% (よく当てはまる), 67% (やや当てはまる), 27% (あまり当てはまらない), 7% (まったく当てはまらない)	8% (よく当てはまる), 62% (やや当てはまる), 31% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)										
<p>【11】 児童に比べ、保護者・教職員の数値が低い項目である。児童が係活動や委員会活動で意識を高め、さらに活躍できるよう手だてをとっていきたい。</p>												
12	笑顔で通える学校	保護者	お子さんは、友だちと仲良くしながら、楽しく学校に通えている									
	児童	友だちにやさしいことばをかけたり接したりしながら、楽しく学校へ通えている										
	教職員	子どもの様子の変化をとらえ、互いに尊重し合い、心を耕すピンクシャツデーの取り組みを通して、いじめのない学級づくりを進めている										
	<table border="1"> <caption>Item 12: School Atmosphere</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>令和2・7月</th> <th>令和3・7月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>52% (よく当てはまる), 38% (やや当てはまる), 9% (あまり当てはまらない), 1% (まったく当てはまらない)</td> <td>55% (よく当てはまる), 37% (やや当てはまる), 7% (あまり当てはまらない), 1% (まったく当てはまらない)</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>52% (よく当てはまる), 36% (やや当てはまる), 9% (あまり当てはまらない), 3% (まったく当てはまらない)</td> <td>57% (よく当てはまる), 32% (やや当てはまる), 11% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>42% (よく当てはまる), 58% (やや当てはまる), 0% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)</td> <td>33% (よく当てはまる), 60% (やや当てはまる), 7% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	令和2・7月	令和3・7月	保護者	52% (よく当てはまる), 38% (やや当てはまる), 9% (あまり当てはまらない), 1% (まったく当てはまらない)	55% (よく当てはまる), 37% (やや当てはまる), 7% (あまり当てはまらない), 1% (まったく当てはまらない)	児童	52% (よく当てはまる), 36% (やや当てはまる), 9% (あまり当てはまらない), 3% (まったく当てはまらない)	57% (よく当てはまる), 32% (やや当てはまる), 11% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)	教職員	42% (よく当てはまる), 58% (やや当てはまる), 0% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)
対象者	令和2・7月	令和3・7月										
保護者	52% (よく当てはまる), 38% (やや当てはまる), 9% (あまり当てはまらない), 1% (まったく当てはまらない)	55% (よく当てはまる), 37% (やや当てはまる), 7% (あまり当てはまらない), 1% (まったく当てはまらない)										
児童	52% (よく当てはまる), 36% (やや当てはまる), 9% (あまり当てはまらない), 3% (まったく当てはまらない)	57% (よく当てはまる), 32% (やや当てはまる), 11% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)										
教職員	42% (よく当てはまる), 58% (やや当てはまる), 0% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)	33% (よく当てはまる), 60% (やや当てはまる), 7% (あまり当てはまらない), 0% (まったく当てはまらない)										
<p>【12】 保護者、児童、教職員ともに「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせて80%を超えている。今後もこの状態が続くようしっかり取り組んでいきたい。</p>												

学校評価アンケート（保護者の声）

- * 引き渡し訓練の時に絆ネットの連絡のあとで、引き渡しまで15分ほどあった。その間道路が渋滞して、生活道路として使用してみえる車がUターンしていた。門を開けられない重要な理由があるようなら、回覧板なり工事の予告看板なり周知していただくのはどうか。
- * 引き渡し訓練の時に学校の前の道がものすごく渋滞になっていた。待ち時間もすごくかかるので、学年別とか時間をずらすなど、もう少しスムーズにできる方法があればと思う。
- * 引き渡し訓練の時に学校からのメールが届かなかった。
- 引き渡し訓練については、メール配信の後で校内避難体制をとっており、どうしても実際の引き渡しまでにタイムラグが生じてしまいます。ご意見を参考にさせていただき、少しでもスムーズに引き渡しができるよう改善していきたいと思います。メールが届かなかったことについては、原因をさぐりたいと思いますので、お名前を担任までお申し出ください。

- * 最近小学生が登下校中に車の事故で亡くなった件があり、登下校が心配です。歩道と車道が分けられていても心配は尽きません。
- * 登校時にガードレールがない箇所があるので危険だと感じます。交通量もかなり多く、歩道も狭いです。
- * いつも使っている歩道橋が使えず、またその迂回路となっているコンビニも車の出入りが激しいです。子どもたちにきちんと指導して、安全に登校させてほしい。
- * 登下校時に熱中症対策をかねて、傘をさすのはどうか。マスクをしたままの登下校では夏場は危険だと思います。
- 今回は登下校の安全対策に関するご意見をたくさんいただきました。学校としても全体指導、通学団別指導など、さまざまな方法をとって対応しております。また、登下校時に職員の付き添い、立哨なども実施しております。保護者の皆様につきましても声かけ、見守り活動をこれまで同様にお願ひしたいと思っております。気になる点がありましたら、学校までご連絡ください。

- * 学芸会について、飛沫の心配のない音楽祭のようなものはどうか。マスクをしてできる打楽器や鍵盤楽器、トーンチャイムや空き容器を使って自分で打楽器を作って演奏をするのも楽しいかもしれません。揃っていないなくても音楽を楽しんでいる姿を見られれば親としてうれしく思います。コロナ禍で開催が難しいかもしれないが、文科系を好む子どもにも表現の機会をつくっていただけたらと思います。
- 学芸会につきましては、現在実施方法を考えているところです。コロナ禍においても、少しでも多くの方に感動していただけるようなものをつくっていきたいと思っています。

- * 30人を超える学年について、2クラスに分けて少人数学級を一日も早く取り入れてほしいです。
- 現在は、特に算数科において少人数指導を取り入れております。3年生については、複数の教員で対応するTT方式、4年生以上につきましてはクラスを3分割しての少人数指導となっております。なお、人数の多い1年生については非常勤の教諭が加わり、指導に当たっています。ご理解いただけますようお願いいたします。

* 全校読み聞かせ、今年はあるてよかったです。子どもたちは楽しみにしていたと思います。読み聞かせと業前マラソンは続けてほしいです。

→ 本年度は2部制にして全校読み聞かせを開催することができました。今後も感染症対策をとりつつ、少しでも多くの学校行事を開催していきたいと思っております。

* 以前の体操服の名札を無くした方がよいと思う。

→ 現状を鑑み、9月2日付けで保護者様宛にプリントを配付させていただきました。よろしくお願ひします。

* きょうだいで帰宅時間を一緒にしてほしい。

→ 現在のカリキュラム上、全ての学年で下校時刻を同じにすることは難しいです。申し訳ありませんが、きょうだい間で個別での対応をお願いします。

* テストの採点が厳しすぎるのではないかと思う。

→ 基礎学力の定着に向け、定期的にテストを実施しています。ほとんどの学年が単学級で、採点基準は同一であると考えます。お子様に次に向け、励ましとなるような声かけをお願いします

* 学級通信を出していただけて、子どもの様子が分かりありがたいです。親子での会話の参考になります。宿題のていねいなサポートもありがたいです。

→ ありがとうございます。保護者の方の温かい励ましが担任に力を与えていただけます。今後も学校と家庭がしっかり連携して子どもたちの成長をうながしていけたらと思います。

* 給食当番の白衣を個人持ちにしてほしい。

→ 個人持ちにすると費用負担が発生し、お子様の成長に合わせて再購入ということも考えられます。現段階では、学年に見合ったサイズのを教室単位で使用していきたいと思ひます。

* 学校で必要なもので、親が用意しないといけないものがある時には早めに連絡がほしいです。プール帽子に色指定があるのを知らなくて、あわてて買いに行ったら売り切れていたりしました。

→ ご指摘ありがとうございます。少しでも早めにお知らせできるよう配慮していきたいと思ひます。

* 今はコロナ禍で難しいかもしれないけれど、学年1～2クラスしかない小さい学校なので、たて割りなどで他の学年と交流があるといいと思ひます。

→ コロナ禍ではありますが、少しでもやれる方法をさぐっていきたく思ひます。